

児童虐待防止について

児童虐待については、昨今の虐待相談対応件数の急増、昨年の目黒区の事案、今年の野田市や札幌市の事案等を踏まえ、虐待事案の未然防止・早期発見・早期対応にオール大阪で取り組むことにより、重大な児童虐待ゼロの実現を目指します。

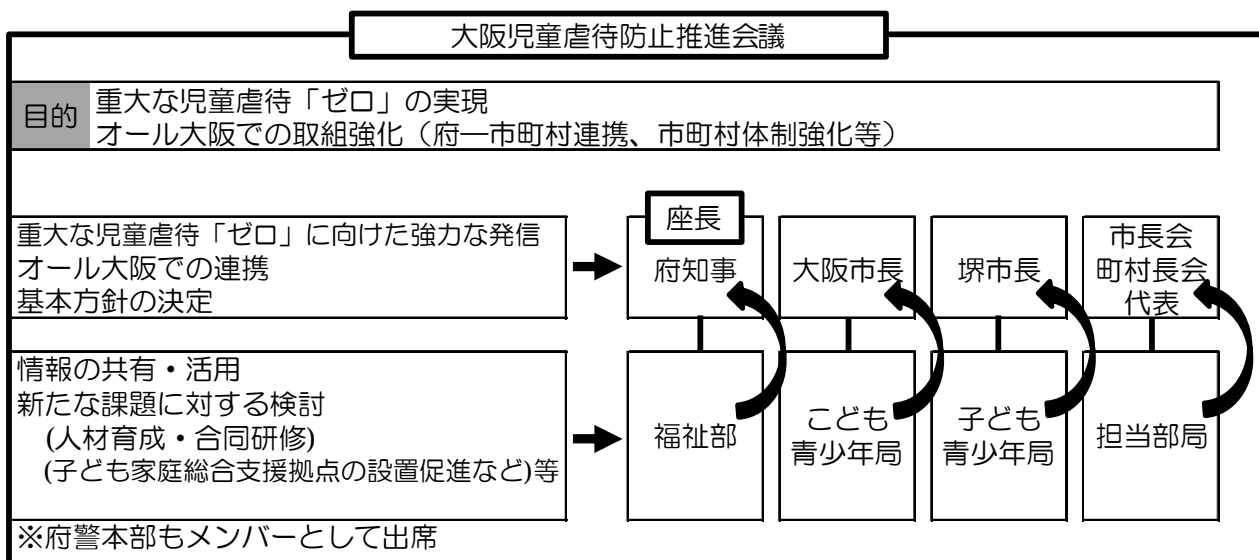
1. 虐待の要因となり得るもの（リスク要因）

保護者	子ども	養育環境
<ul style="list-style-type: none"> • 思いがけない妊娠 • 育児不安、ストレス • アルコール、薬物依存 • 被虐待体験 等 	<ul style="list-style-type: none"> • 未熟児、障がい児 • 乳児期の子ども • 何らかの育てにくさを持っている子ども 等 	<ul style="list-style-type: none"> • 転居を繰り返す家庭 • 夫婦不和、経済不安 • 配偶者からの暴力 • 地域社会等からの孤立 等

2. 今後の取組み

- ①オール大阪での具体的な取組み
- ②虐待防止に向けた強力な発信
- ③自治体ごとに異なる様式・判断基準の擦り合わせ 等

3. 検討フレーム



会議の構成メンバー

- 児相設置自治体 → ①大阪府知事、②大阪市長、③堺市長、④児相長
- 児相を設置していない市町村 → ⑤泉大津市長（市長会代表）
⑥太子町長（町村長会代表）
- その他 → ⑦府警本部、⑧各自治体部局長
（※有識者はテーマによってその都度招聘）